

# 第12回 通常総会 資料

日 時 : 2022年6月1日(水) 13:15~14:15  
会 場 : 如水会館 (東京都千代田区一ツ橋) より  
Microsoft Teams によるオンライン開催

## 目 次

	ページ
報告1. 2021年度事業報告の件	
・2021年度事業報告.....	1
<表彰者一覧、2021年度事業・行事実績詳細> .....	8
・会員の状況 .....	12
・2021年度会計報告 .....	13
・2021年度監査報告 .....	14
報告2. 2022年度事業計画の件	
・2022年度支部方針 .....	16
・2022年度事業別方針 .....	18
・2022年度予算 .....	22
・2022年度支部活動計画 .....	23
議案1. 2022年度支部組織・役員体制の件	
・2022年度支部組織 .....	24
・2022年度支部役員体制(案) .....	25



報告1.

2021 年度事業報告の件

# 2021年度事業・行事实績一覧

( )内数値は日付  
[ ]内数値は開催回数

2022/3/30

事業開催年月	総会 定期理事会 顧問会	事業担当 理事会	講演・講習会 [1]	見学会 [3]	社会活動 [5]	支部報 行事案内 [6]	学生フォーミュラ 活動支援 [11]	学生活動 学生自動車研究会 [22]
4月	【Web】 第3回理事会(16) 〈市ヶ谷〉	【ハイブリッド】 #1支部報(4)  【Web】 #1見学会(12)  【Web】 #1学生活動(24)					【開催中止】 - 学自研交流会(18)	【Web】 ・学自研大会 (参加者)24  【Web】 ・#1学術研究講演会実行委員会 (24)  【Web】 ・#1学生会委員会(24)
5月	【Web】 本部春季大会(26-28) 〈ハシヰコ横浜〉		【Web】 ・脳科学とセンシング技術 (12)  【Web】 ・特来車両12V電源 (14,19)				【Web】 ・産談会(11) 「テレワークで、仕事とプライベートはどのように変化したのか」  - EV交流会(Web)(29)  【開催中止】 - FM関東 走行会	【開催中止】 ・富士総合火力 演習見学会(12) 〈陸上自衛隊 東富士演習場〉  【Web】 ・#2学生会委員会(29)
6月	【Web】 第11回通常総会(1) 〈如水会館〉 ・特別講演：柏木 作氏 (筑波大学 前主)	【ハイブリッド】 #2支部報(4)  【Web】 #1試走会WG(21)	【Web】 ・特別講演(1) 〈如水会館〉		【開催中止】 ・小学生くるま未来体験教室 〈新潟工業短期大学〉		- EV講習(Web)(25)  【開催中止】 - FM関東 走行会	【Web】 ・#3学生会委員会(26)
7月		【Web】 #2試走会WG(2)  【Web】 #1特命事業WG(7)  【Web】 #2学生活動(10)  【Web】 #3支部報(12)  【Web】 #3試走会WG(14)  【Web】 #1講演・講習(15)  【Web】 #5総務(26)  【Web】 #1社会活動(29)		・中部支部意見交換会(16)	・社会活動事業紹介(1) 支部報No.76号  【開催中止】 ・小学生くるま未来体験教室 〈大工理工学部船橋〉	・支部報No.76(1)	- EV交流会(Web)(6)  【開催中止】 - FM関東 走行会	【Web】 ・#2学術研究講演会実行委員会 (10)  【Web】 ・#4学生会委員会(17)
8月	【Web】 特別見学会「日本自動車博 物館 見学会」(8/6-10/31)	【Web】 #4試走会WG(3)  【Web】 #2見学会(19)  【Web】 #2社会活動(23)	・中部支部交流会(25)	【以下、全て開催中止】	【29のみ開催】 ・エコ1大会(28,29) 〈東京都立大学〉		- EV交流会(2)  【開催中止】 - 学生フォーミュラ支部 合同試走会(4~25) 〈エコノ〉  【開催中止】 - EV講習Ⅱ(Web)	【Web】 ・#5学生会委員会(21)
9月		【Web】 #2特命事業WG(22)	【開催延期】 ・次世代IT基礎秘術 (28) 〈日立横浜〉	・いすゞ自動車藤沢工場 〈藤沢市〉  ・鉄道総合技術研究所 〈国分寺市〉  ・本田技研 狭山工場 〈狭山市〉			【現地開催中止】 ・(全日本学生 フォーミュラ 7~11)	【Web】 ・#6学生会委員会(18)
10月	【Web】 第4回理事会 (合同役員会)(18) ・特別講演：永井 洋治氏 (大洋コンサル)  【Web】 本部秋季大会(21-23)	【Web】 #6総務(6)  【Web】 #3社会活動(7)  【Web】 #3学生活動(9)  【ハイブリッド】 #4支部報(11)  【Web】 #3特命事業WG(28)	【Web】 ・特別講演(18) 〈如水会館〉  【Web】 ・基礎から分かる モード解析(27-11/2)	・日本航空 〈大田区〉  ・日本電産サンキョー オルゴール 〈長野県諏訪郡〉  ・キラウ山形 〈山形県舟形市〉  ・消防研究センター 〈調布市〉  ・日産自動車 追浜工場 〈横須賀市〉	【開催中止】 ・小学生くるま未来体験教室 〈玉村町〉		- FM関東(15)  【開催中止】 - ダンバー講座(Web)	【Web】 ・#3学術研究講演会 実行委員会(9)  【Web】 ・#7学生会委員会(16)  ・レンタルカート企画(23) 〈City Kar〉
11月		【Web】 #2講演・講習(4)  【ハイブリッド】 #3見学会(25)	・3Dプリンティング(18) 〈コイワイ〉		【開催中止】 ・小学生くるま未来体験 教室 FCV版(13) 〈札幌〉 「FCVキットカー貸出しのみ実 施」  【開催中止】 ・小学生くるま未来体験 教室 〈山梨CT〉  【開催中止】 ・公開講座 明日へのテクノロジー セミナー 〈新潟工業短期大学〉		女性産談会(12) 〈年が「あける」喜びと、新年の 抱負〉  ・模擬車検会(6-7) 〈神奈川県立工科大学〉  ・模擬車検会(14) 〈ソフィアテックカレッジ関東 校〉	【Web】 ・#8学生会委員会(20)  【開催中止】 ・国際交流事業台湾派遣
12月	【Web】 グループ(企業窓口)担当者 連絡会(6)	【Web】 #4特命事業WG(1)  【Web】 #4社会活動(2)  【Web】 #5支部報(6)  【Web】 #7総務(14)  【Web】 #4学生活動(18)	・防衛装備庁(10) 〈次世代装備研究所〉  【開催中止】 ・日産 自動運転/EV 〈日産自動車〉	・アマダ(株)富士宮 テクニカルセンター(3) 〈静岡県富士宮市〉  ・東北支部共催 日本積層造形(株)(17) 〈宮城県多賀城市〉	【開催中止】 ・小学生くるま未来体験教室 〈宇都宮大学〉		- EV技術交流会(11)  - EV試走会(11)	【Web】 ・#9学生会委員会(18)  【Web】 ・#4学術研究講演会 実行委員会(18)
1月	【Web】 第5回理事会 (合同役員会)(19) 〈如水会館〉 ・特別講演：竹本 勝紀氏 (録子電機)	【ハイブリッド】 #4見学会(19)	【開催延期】 ・次世代IT基礎秘術(24) 〈日立横浜〉			・支部報No.77(1)		【Web】 ・#10学生会委員会(22)
2月		【Web】 #6支部報(1)  【Web】 #3講演・講習(3)  【Web】 #5学生活動(26)  【Web】 #5特命事業WG(28)				【Web】 ・関西支部との交流会 (22)	- EV交流会(4)	【Web】 ・#11学生会委員会(26)  ・四輪研修(25) 〈トヨタ交通安全センター「モビリティ」〉  【Web】 ・#5学術研究講演会 実行委員会(26)
3月	【Web】 ・特別講演：赤岡 均氏 (本田技研工業) (10)  【書面審議】 2021年度顧問会(21)  【Web】 功労表彰選考委員会(23)	【Web】 #5試走会WG(3)  【Web】 #8総務(23)	【開催延期】 ・最新車両運動制御(17) 〈神奈川県立工科大学〉  【開催中止】 ・次世代モビリティ(25) 〈群馬大学〉	【開催中止】 ・石坂産業(18) 〈三芳町〉	【開催中止】 ・小学生くるま未来体験教室 〈宇都宮大学〉	【Web】 ・中部支部との交流会 (1)	【開催中止】 ・溶接講座・制御講座	・KYB見学会(2) 〈KYB相模原工場〉  【Web】 ・学術研究講演会(10) 〈自研本部〉  【開催中止】 ・国際交流事業 台湾・タイ・日本学生交流 イベント  【Web】 ・#12学生会委員会(19)  【開催中止】 ・国際交流事業タイ派遣

\*ハイブリッド：オフライン会議とオンライン会議を組み合わせた会議。

# 1)第11回支部通常総会

関東支部第11回通常総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため如水会館を拠点として、現地とオンラインのハイブリッド開催とした。

遠藤真支部長の議事進行により下記議案が審議され、いずれも異議なく承認された。

〔開催日時〕2021年6月1日(火) 13:15～16:30

〔出席者数〕関東支部会員 113名

〔議 事〕 報告1:2020年度事業報告の件  
報告2:2021年度事業計画の件  
議案1:2021年度支部組織・役員体制の件

通常総会終了後、同会場において表彰式、特別講演会を開催した。会員交流会は、中止とした。

〔表彰者〕支部表彰(支部功労賞:7名、2団体)

フェロー認定証授与8名(内支部長推薦3名)

フェロー、功労賞の表彰式は、代表者の表彰を会場で実施し、他の受賞者はWebで参加していただき表彰状、トロフィーは後日郵送した。懇親会は中止とした。

〔特別講演会〕『自由自治都市「堺」-火縄銃生産の盛衰と変転』

講師: 柏木 作 氏

堺鉄砲館 館主 堺火縄銃保存会 副会長 (出席51名)

講演会は、会場からオンラインで配信した。

## 2)支部役員会

会務・運営・事業計画に関する事項を審議するため、理事会、顧問会並びに事業担当理事会を開催した。

### 2-1)支部役員会

#### <理事会>

2021.4.16	2020・2021第3回理事会	オンライン	理事56名
10.18	2020・2021第4回理事会(顧問同席の合同役員会)	如水会館/オンライン	顧問2名、理事54名
2022.1.19	2020・2021第5回理事会(顧問同席の合同役員会)	如水会館/オンライン	顧問4名、理事51名

#### <顧問会>

2022.3.21	2021年度顧問会	書面審議	-
-----------	-----------	------	---

#### <新春懇談会>

2022.1.19	特別講演会: テーマ:『地域と共に存続を目指す銚子電鉄の挑戦』 講師:銚子電気鉄道株式会社 代表取締役社長 竹本 勝紀氏 関東支部新春懇談会	オンライン/如水会館	226名
		開催中止	-

### 2-2)事業担当理事会

#### <総務担当理事会>

2021.7.26	第5回総務担当理事会	オンライン	
10.6	第6回総務担当理事会	オンライン	
12.14	第7回総務担当理事会	オンライン	
2022.3.23	第8回総務担当理事会	オンライン	

#### <講演・講習会担当理事会>

2021.7.15	第1回講演・講習会担当理事会	オンライン	
11.4	第2回講演・講習会担当理事会	オンライン	
2022.2.3	第3回講演・講習会担当理事会	オンライン	

<見学会担当理事会>

2021. 4.12	第1回見学会担当理事会	関東支部/オンライン
8.19	第2回見学会担当理事会	オンライン
11.25	第3回見学会担当理事会	如水会館/オンライン
2022.1.19	第4回見学会担当理事会	如水会館/オンライン

<支部報担当理事会>

2021. 4.9	第1回支部報担当理事会	関東支部/オンライン
6.4	第2回支部報担当理事会	関東支部/オンライン
7.12	第3回支部報担当理事会	オンライン
10.11	第4回支部報担当理事会	関東支部/オンライン
12.6	第5回支部報担当理事会	オンライン
2022.2.1	第6回支部報担当理事会	オンライン

<社会活動担当理事会>

2021. 7.29	第1回社会活動担当理事会	オンライン
8.23	第2回社会活動担当理事会	オンライン
10.7	第3回社会活動担当理事会	オンライン
12.2	第4回社会活動担当理事会	オンライン

<学生活動担当理事会>

2021. 4.24	第1回学生活動担当理事会	オンライン
7.10	第2回学生活動担当理事会	オンライン
10.9	第3回学生活動担当理事会	オンライン
12.18	第4回学生活動担当理事会	オンライン
2022.2.26	第5回学生活動担当理事会	オンライン

<試走会WG>

2021. 6.21	第1回試走会WG	オンライン
7.2	第2回試走会WG	オンライン
7.14	第3回試走会WG	オンライン
8.3	第4回試走会WG	オンライン
2022.3.3	第5回試走会WG	オンライン

<学生自動車研究会(学生委員会)>

2021. 4.24	第1回学生委員会	オンライン
4.24	学自研大会(参与会)	オンライン
5.29	第2回学生委員会	オンライン
6.26	第3回学生委員会	オンライン
7.17	第4回学生委員会	オンライン
8.21	第5回学生委員会	オンライン
9.18	第6回学生委員会	オンライン
10.16	第7回学生委員会	オンライン
11.20	第8回学生委員会	自動車技術会/オンライン
12.18	第9回学生委員会	オンライン
2022. 1.22	第10回学生委員会	オンライン
2.26	第11回学生委員会	オンライン
3.19	第12回学生委員会	オンライン

2-3)功労者表彰選考委員会

2022. 3.23 功労者表彰選考委員会

オンライン

### 3)表彰

#### 3-1) 2021年度支部功労者表彰選考委員会

表彰選考委員会を組織し、推薦書をもとに2021年度支部事業活動功労者の選考を行った。表彰選考委員会は2022年3月23日(水)に開催され、本年度推薦のあった候補者から6名の個人を選考し支部長に報告、2021年度表彰者を決定した。

[支部功労者表彰選考委員会]

委員長:市原利信

委員:高橋裕樹、藤川忠弘、渋谷弘之、倉橋秀範、岡部顕史、狩野芳郎 各理事

#### 3-2) 2021年度 関東支部功労者表彰授賞式開催予定

関東支部第12回通常総会(2022年6月1日・如水会館)に引続き、遠藤真支部長から2021年度支部事業活動功労者に表彰状及び記念品を授与する予定である。

#### 2021年度 関東支部事業活動功労者

表彰区分	受賞者
功労賞	猪瀬 潤
	野田淑子
	大宮正毅
	鈴木真人
	渡邊一雄
	中澤広高

#### 3-3) 2021年度 関東支部学生生活動功労賞授賞式

関東支部学術研究講演会(2022年3月10日・オンライン開催)の場において支部長から3名の表彰を行った。後日、表彰楯及び記念品を郵送した。

#### 2021年度 関東支部学生生活動功労者

受賞者
伊藤 大貴
榎本 卓也
久地樂 昌紀

#### 3-4) 2021年度 学生自動車研究会功労賞授賞式

関東支部学術研究講演会(2022年3月10日・オンライン開催)の場において支部長から表彰を行った。後日、表彰楯及び記念品を郵送した。

#### 2021年度 学生自動車研究会功労賞受賞者

受賞者
飯島 利勇斗

## 4)各種行事 企画・開催

2021年度は、「地域社会に貢献」「会員相互の交流と研鑽の機会の提供」「学生、若手技術者の育成に貢献」「事業を支える運営体制の強化」を方針とした。これらを踏まえ「他支部連携の継続と発展」「児童・生徒・学生・一般向け活動の充実」「満足度の高い魅力ある講演・講習会、見学会の推進」「技術者交流の継続による定着」「学生フォーミュラ活動の技術レベル底上げ」「自動車業界に学生を惹き付ける活動の検討継続」「認知度向上の為の情報発信の強化」「会員数の増強」「運営マニュアルの整備」の9項目を重点取り組みとして各担当理事会が事業計画を遂行した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、昨年同様、多くのイベントは開催中止または延期となったが、経験を積んできたオンラインイベントの開催を増やし、多くの会員に参加していただく機会を提供した。

### 4-1) 総務

- ① 2020・2021年度第4回支部理事会を2021年10月18日にオンライン会議にて開催した。理事会終了後、「カーボンフリーとモータースポーツを考える」をテーマとした講演をオンラインにて行った。例年実施している懇親パーティーは開催中止とした。
- ② 他支部との連携強化については、北海道支部と共催で実施している「くるま未来体験教室」に今年度も参加することが困難であったため、FCVキットカーの貸し出しのみを行った。支部報活動に於いては、定着化してきた中部支部、関西支部との交流会をオンラインで実施した。これに加えて見学会、講演・講習会についても中部支部との交流会をオンラインで実施した。東北支部との共催で「日本積層造形株式会社見学会」合同見学会を開催した。エコパでの学生フォーミュラ支部合同試走会は、コロナ禍に於いて分散開催を企画したが、開催中止となった。
- ③ 支部行事案内の発行  
メルマガ配信対象拡大に向けた改善を行い、対象者を大幅に増やした。また、イベントのオンライン開催増加に伴い募集範囲を全国に広げ、本部から全国の会員向けにメルマガを配信する機会を増やし、多くの会員にイベントに参加する機会を提供した。また、twitter、instagramによる支部情報、学生委員会情報の発信を開始した。
- ④ 自動車業界に学生を惹き付ける活動  
機械工学以外も巻き込んだ施策として、企画検討に向けた学生アンケートを実施し、要望イベントを把握した。上位から①見学会(モータースポーツ)、②見学会(研究開発)、③体験会(運転技術)であった。
- ⑤ 技術者向け交流会  
技術者向け交流会の活動として、3月に石坂産業の見学会・技術者交流会を企画したが、コロナの影響で開催中止となった。
- ⑥ 中高生向けエコ1チャレンジカップについては、コロナの影響により、現地走行を中止し、屋内マッチのみをオンラインで開催した。12校が参加し、YouTube配信視聴回数は、2,000回と好評だった。
- ⑦ 会員数の増強に向けて、特命事業WGを発足し、加入促進活動を実施した。各社の人材育成として、自動車技会の教育講座や行事を活用し、一度経験することで良さを分かって貰い、加入へと繋げていく。各種事例(具体的な加入促進活動や費用負担軽減等)を盛り込んだ手引き「自技会活用のすすめ」を作成し、各社への展開を実施した。
- ⑧ 運営マニュアルの整備  
「イベント実施判断に関する支部ガイドライン」を検討。各事業運営及びオンラインイベント対応マニュアルを作成した。
- ⑨ コロナ禍における会員サービス継続の為、昨年に引き続いてオンライン見学会「日本自動車博物館見学会」を開催し、他支部も含め多数参加いただいた。

[総務担当理事会]市原利信 主担当理事、飯高敏、岡部顕史、倉橋秀範、渋谷弘之、高橋裕樹、藤川忠弘、  
本田康裕、柳井達美 各理事

### 4-2) 講演・講習会

講演・講習会事業は、「自動運転」、「ICT」、「電動化」等次世代自動車に関する技術動向にスポットを当てた企画、「内燃機関(SIP燃焼研究)」開発関係から「車両運動制御」など最新の技術動向や基盤技術まで、視野を

広げた企画、異分野異業種「防衛装備庁の先進技術」からの企画など合計10件を企画した。コロナ禍に於いてリアルイベントとオンラインイベントを振り分け、8件のイベントを開催した。講演会「次世代IT基盤技術」、「インホイールモータによる車両運動制御の飛躍」は、コロナの影響で開催延期となった。また、総会及び合同役員会に合わせた特別講演会は、それぞれオンラインで実施した。

[講演・講習会担当理事会]高橋裕樹主担当理事、猪瀬潤副担当理事、飯尾雅俊、岩井信夫、大森浩、尾高成也、石動谷允康、長尾健一、森田賢治、森田泰弘、山川淳也、渡部寿 各理事

#### 4-3) 見学会

見学会事業は、「新たな発見を提供できる見学会」の企画、「新しい視点、新しい感覚を吸収できる見学会」の運営を方針に11回の見学会(ミニ講演付)を計画した。コロナの影響で多くのイベントが開催中止及び延期となったが、「株式会社アマダ 富士宮テクニカルセンター見学会」、「東北支部共催 日本積層造形株式会社見学会」は、万全のコロナ対策を実施して開催した。コロナ禍における今後の見学会開催に向けて、リアル見学会におけるCOVID-19対応ガイドラインを制定した。

[見学会担当理事会]藤川忠弘主担当理事、伊東宏副担当理事、野田淑子副担当理事、明石浩二、井本沙緒里、大河戸昌也、佐竹義史、田村正樹、花澤淳之、山崎慎也、山本敏郎 各理事

#### 4-4) 支部報[高翔]の編集刊行

記事については、幅広い層に読んでいただけるものを厳選した。

##### <刊行実績>

No.76を特集「そなえる」で、2021年7月に刊行した。No.76から電子版に移行した。電子版への移行に合わせて、表紙デザインの一新を図り、全面写真スタイルに切り替えた。コロナ禍における女性座談会の実施形態を検討し、No.76では、初のリモート方式で開催した。

No.77を特集「あける」で、2022年1月に刊行した。コロナが収束しないため、女性座談会は、No.76と同様にリモート方式で実施した。

また、定着化してきた中部支部、関西支部との交流会をそれぞれ1回、オンラインで実施し、電子版への移行に伴う課題などについて活発な情報交換を実施した。

[支部報担当理事会]渋谷弘之主担当理事、大宮正毅副担当理事、伊澤隆志、臼井拓也、神谷裕仁、佐々木領一、成澤和幸、本田康裕、松田淳、松本成司、柳井達美 各理事 (株)大成社

#### 4-5) 社会活動

「教育支援、地域活動機会を通じて工学教育支援で社会に貢献」「重点活動地域での活動継続、他支部・本部との連携」「小中高向けプログラムのレベルアップ(進化検討)」を方針として、小学生対象の「くるま未来体験教室(7回)」「新潟工業短期大学との共催イベント(公開講座)」を計画したが、新型コロナウイルスの影響で全てのイベントが開催中止となった。北海道支部との共催で実施しているくるま未来体験教室は、昨年同様、北海道支部主体で実施し、関東支部からは、FCVキットカーの貸し出しのみ実施した。エコ1チャレンジカップに於いては、審査及び表彰を実施した。小中高向けプログラムの進化にむけた新レゴキットの購入と整備を実施した。

[社会活動担当理事会]倉橋秀範主担当理事、岩崎雅彦副担当理事、阿部和彦、小椋和義、柏瀬一、佐野吉徳、鈴木真人、富樫晃、向井正和、武藤英治、横山篤、渡辺芳樹 各理事

#### 4-6) 学生活動

①2021年度学術研究講演会は、新型コロナウイルスの影響で昨年同様、オンライン開催とした。講演80件(うち英語7件)、聴講者(参加者)は117人だった。ポスター発表と技術展示は、中止とした。

特別講演は、赤岡均氏(本田技研工業)をお招きして『妥協なき こだわりつらぬくものづくり』と題して、オンラインで実施した(視聴者:70名)。



- ②21年度で12回目となる国際交流に於いて計画した日本から学生を海外(タイ・台湾)に派遣するプログラムは、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
- ③関東支部学術研究講演会に合わせて学生を台湾、タイから招聘するプログラムも昨年と同様に新型コロナウイルスの影響で招聘することが出来なかったため中止となった。代替策としてオンラインでの交流イベントを企画したが、年度内の実施は断念し、次年度開催に向けた検討を実施した。なお、学術研究講演会は、タイと台湾からそれぞれ1名の学生が参加。現地より英語で研究発表を行った。
- ④台湾で開催された国際会議に大学院生2名が参加し、発表を行った。

[学生活動担当理事会] 岡部顕史 主担当理事、馬場雅之 副担当理事、伊藤秀明、大蘆嘉郎、岡崎昭仁、川上洋生、小林佳弘、佐藤一成、鈴木康弘、田中淳弥、中村道郎、樋口真文、三原雄司、渡邊一雄 各理事

#### 4-7) 学生自動車研究会

学生委員会が昨年度新型コロナウイルスの影響で開催中止となった見学会、講演会等を再企画して、レンタルカート企画、四輪研修、KYB部品見学会(講演会)を実施した。TCD見学会は、コロナの影響で開催困難であった。諸活動の企画に於いては、学生活動支援組織(担当理事会、参与会、支援委員)が側面から指導、助言した。

[学生委員会役員] 委員長 飯島利勇斗(神奈川工科大学)、副委員長 伊藤大貴(日本大学)、書記 山之内晶(神奈川工科大学)、広報 榎本卓也(日本大学)、福本哲夫(東京電機大学)、会計 大津俊太郎(神奈川工科大学)、藤原諠紀(神奈川工科大学)、国際交流 佐原永都(東京電機大学)、久地樂昌紀(関東学院大学)、金澤立哉(中央大学)、清水 雄貴(横浜国立大学)

#### 4-8) 試走会WG

21年度は、コロナ禍に於いて支部合同試走会の分散開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により夏までに開催予定であった試走会は、全て中止となった。リカバリとして11月に模擬車検会、12月にEV試走会を開催した。

FM関東総会、交流会をオンラインで実施した。また、「EV講習」をオンラインで実施した。マネージメント講習、燃料講習、ダンパー講座、制御講座、溶接講座は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

[試走会WG] 狩野芳郎 主担当理事、本田康裕 副担当理事、草加浩平、鈴木隆、関根太郎、東宮真左人、中澤広高 各理事 その他拡大メンバー: 小林正朋、土屋高志

## 2021年 関東支部功労賞受賞者一覧

表彰区分	氏名	所属	表彰理由
1 功労賞 (個人)	猪瀬 潤	(株)小野測器	2018年より講演講習会担当理事を務めるとともに副担当理事として担当理事会全体をまとめる活動をしてきた。特に2019年からのコロナ禍においては、担当している2件の講習会をいち早くWeb化に向けて、関係各所とWebならではの資料の見せ方(著作権)/学びの進め方(時間配分)に工夫を加える等調整をすませ、オンデマンドによる講習会という新たな価値を実現している。これは従来の会員からの要望(アンケート結果)に応える形で新たな自己研鑽の場の提供であり、支部活動の可能性を広げる大きな貢献と考える。
2 功労賞 (個人)	野田 淑子	(株)ブリヂストン	2017年より関東支部理事を務め、2021年からは見学会副担当理事として活動している。その間、数多くの同担当理事会行事の企画運営に携わり、会員各位へ有益な技術研鑽の場を提供することに注力してきた。また新型コロナウイルス感染が拡大する中においては、新たな付加価値を備えたりモト見学会の実現に向け、他業界を含めたりモト見学会を積極的にリサーチすると共に、自らが独自に制作編集したリアル動画により具体的なイメージを模索するなど、精力的に取り組みを進めたことは、今後の支部事業の発展に寄与する貢献は極めて顕著である。
3 功労賞 (個人)	大宮 正毅	慶應義塾大学 理工学部機械工学科	関東支部理事として2012年から現在まで10年間支部報事業活動に従事し、2019年からは同副担当理事として尽力されている。本事業活動に最も長く在籍されている一人であり、号担当、イベント対応を複数回こなされ、記事担当件数も多大に及ぶ。その経験豊富なベテランとしての活躍、行動はメンバーの範となるものであり、本活動において欠かせない存在である。また、支部報事業活動以外でも所属される大学の学術講演会に對し中心的立場で終始精力的に対処された実績を持つなど、関東支部事業活動への貢献度は非常に大きい。
4 功労賞 (個人)	鈴木 真人	新潟工業短期大学 自動車工業科	社会活動理事として、7年以上に渡り新潟地区での市民講座「明日へのテクノロジーセミナー」および小学生親子向け「くるま未来体験教室」の開催推進に尽力されており、特に新潟近郊の複数の小学校に對し継続的に参加募集を行い毎年20組以上の参加者を募ることが出来て居ります。また開催にあたっては、実車提供や安全確保など率先して教室の運営担当をして頂いており、本支部の事業活動に對し多大な貢献をされてきた。
5 功労賞 (個人)	渡邊 一雄	日産モータースポーツ &カスタマイズ(株)	2013年度に関東支部理事に就任し、現在に至るまで9年間、学生活動担当理事として学生活動の活性化や若手技術者育成にご尽力いただいた。中でも、学自研功労賞(本部、支部推薦)人選基準の明確化や、学術研究講演会のベストペーパー賞、ベストプレゼン賞の審査結果の集計、受賞者選出、表彰状の印刷の一連の作業の中心的な役割を果たしてきた。
6 功労賞 (個人)	中澤 広高	(株)本田技術研究所	学生フォーミュラ大会2012年(第11回大会)副実行委員長に就任後、関東支部試走会WGの拡大メンバーとして、支部試走会の動的リーダーを現在に至るまで長きにわたり努めてこられた。また、大会実行委員長を務めたのち2021年からは支部試走会担当理事として支部の運営にも尽力されている。とりわけ、8月の支部合同試走会では本大会の動的スタッフ訓練・計測システムの確認との連携をとりながら、スタッフの経験値に応じたコースマーシャルの配置、試走会前後の大会備品の倉庫からの搬入まで担当され、支部試走会の運営に多大な貢献をされてきた。

<選考委員会>

日時・場所  
選考委員

2022年3月22日 13:30~14:30 オンライン

市原理事(総務)、高橋理事(講演会)、藤川理事(見学会)、渋谷理事(支部報)、倉橋理事(社会活動)、岡部理事(学生活動)、狩野理事(試走会WG)

## 2021年度 関東支部学生活動功労賞受賞者一覧

表彰区分	氏名	所属	表彰理由
1 功労賞 (個人)	伊藤 大貴	日本大学大学院	2021年度副委員長、書記として学生委員会を率先してけん引するとともに、部品工業会との共同企画であるKYBの見学会の企画立案から相手先調整、オンライン見学会実施に向けたコンテンツ検討、事前調整など積極的に行った。コロナ禍にあつては、行事執行がままならない中、オンラインでの見学という新たな行事スタイル実現の為、関係各所と調整しつつ実現に向け努力したことは、新時代の学生自動車研究会の活動の方向性を示したといえ、その功績は大きい。
2 功労賞 (個人)	榎本 卓也	日本大学大学院	広報・国際担当の役割を担い、今般の会員増強、会員サービスの充実の為、従来のFacebookでの広報のほかTwitterやInstagram等他のSNS媒体の活用など、新たな広報の在り方を試行した。国際活動にあつては、コロナによる直接交流が困難な中、オンラインでの交流の方向を探るべく努力。台湾の学生と双方の免許取得事情をテーマに双方間交流に向けた準備を率先して推進。更に、本年度唯一の対面行事として実施しているカート走行会では、単なる会員間交流にとどまらず、OPを講師に招き、実機を用いての車両運動理論の体得など、学術的要素を取り入れて行事実行するなど、行事の付加価値向上に貢献した。
3 功労賞 (個人)	久地楽 昌紀	関東学院大学大学院	国際交流を担当、月例の委員会では積極的発言を行い、会の活性化に寄与した。国際交流活動にあつては、コロナ影響により、直接交流ができない中、どのような形態で交流ができるか、あるべき姿を追求するとともに、自らT-SAEの国際会議にエントリーするとともに、オンラインでの交流可能性を検討、新たなスタイルでの交流の在り方を模索している。また、担当外ながら4輪研修にあつては本人のネットワークを駆使し、モリタとの対面行事実現に向けた調整を買って出るとともに、会全体の活性化に寄与。その行動は他の模範となる。

## 2021年度 学生自動車研究会功労賞受賞者(本部表彰)一覧

表彰区分	氏名	所属	表彰理由
1 功労賞 (個人)	飯島 利勇斗	神奈川工科大学大学院	2020年度に会計の担当者として、2021年度に委員長として、学生委員会の運営を主体的に務めた。学生委員発案による企画については、企画、募集、実施、報告、反省という一連の活動を取りまとめ、また多くの学自研行事にも積極的に参加している。コロナ禍の中、見学会や講演会などの企画実施に向けて、月例の学自研学生委員会で、活発な発言と行動を通し、学自研の活性化に貢献した。このような学自研活動に対する積極的且つ真摯な取り組みは、他の学生会員に規範を示すことにもなっており、学自研に大いに貢献した。

<2021年 事業・行事実績詳細>

■講演・講習会

No.	実施時期	参加	テーマ	講演・講習題目	講師	実施会場
1	2021.5.12-23	402	脳科学とセンシング技術 ー ヒトの“こころ”を科学する最新脳科学の活用 ー	① ニューロテクノロジーとモビリティ開発 I ② ニューロテクノロジーとモビリティ開発 II ③ 脳情報通信時代の到来とNTTデータの取り組み	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	茨木 拓也 大山 翔 オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
2	5.14・19	279	将来の車両機能から考える12V電源の重要性 ー 安全な車両電源システムについて考える ー	将来の車両機能から考える12V電源の重要性	ポッシュ(株)	垣東 和弘 小松崎 晃義 オンライン (ライブ配信)
3	6.1.6.2-18	51	関東支部総会記念講演会	「鉄砲の伝来と製造方法他」	堺鉄砲館 館主 塚火縄銃保存会 副会長	柏木 作 如水会館 (東京都千代田区) オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
4	10.27-11.2	63	基礎から分かるモード解析 ー 振動の入門講座:初心者を対象とする講義と最新の実験解析システムによる実演	① 振動の基礎 I :1自由度系 ② 振動の基礎 II :多自由度系 ③ 信号処理と振動試験の方法と技術	法政大学教授 キャテック(株)	御法川 学 西留 千晶 オンライン (オンデマンド配信)
5	10.18.22-11/30	254	新春特別講演 ー カーボンフリーとモータースポーツを考える ー	世界中でカーボンフリーの急速な動きがある中、モータースポーツも各分野で色々な対応が検討されているが、モータースポーツが名実ともにサステナブルとなる為には何が必要かを考える。	大洋コンサル代表	永井 洋治 如水会館 (東京都千代田区) オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
6	11.18.12.13-22.1.23	43	3Dプリンティング ー 金属3D積層造形技術の動向 ー	① 会社概要説明、3Dプリンター設備見学 ② 金属3D積層造形技術の最新動向と今後の展開 ③ 電子ビーム積層造形プロセスの基礎と応用	(株)コイワイ 代表取締役 東北大学 金属材料研究所教授	小岩井 豊己 千葉 晶彦 コイワイ(株) (神奈川県小田原市) オンライン (オンデマンド配信)
7	12.10	24	防衛装備庁 次世代装備研究所 訪問 ー 電磁波を自在に操り陸海空自衛隊の電子技術を支える ー	① 次世代装備研究所概況説明 ② サイバー攻撃対処の研究紹介 ③ 見通し外レーダの研究紹介 ④ 見学光電子実験棟と電波暗室等の見学	次世代装備研究所 情報通信研究部サイバーセキュリティ研究室 センサ研究部広域警戒システム研究室	武田研究 戦略調整官 長嶋研究 調整官 防衛装備庁 次世代装備研究所 (東京都世田谷区)
8	-	-	【開催中止】 日産 自動運転/EV	-	日産自動車(株)	- 日産自動車(株) (神奈川県厚木市)
9	2022.1.19.1.28-3.31	226	新春特別講演会 『銚子電鉄の挑戦』	『銚子電鉄の挑戦』 逆境に負けない! ~地域と共に存続を目指す銚子電鉄の挑戦~	銚子電気鉄道株式会社 代表取締役 社長	竹本 勝紀 如水会館 (東京都千代田区) オンライン (ライブ&オンデマンド配信)
10	1.24	-	【開催延期】 次世代IT基盤技術 ークルマを支えるソフトウェア研究開発ー	モビリティを支えるソフトウェア開発・運用技術 複雑さと規模に対処するシステム・ソフトウェア開発環境 日立オープンラボ横浜見学	株式会社日立製作所 日立Astemo(株)	寺岡 秀敏 川上 真澄 松原 正裕 (株)日立製作所 (神奈川県横浜市)
11	3.2-8	51	サウンドデザインのための 音色・音質評価	① 音・聴覚の基礎 ② 音色・音質評価 ③ 音のデザインへの応用 ④ 音質評価解析技術の解説と実習映像	九州大学大学院 芸術工学研究院 (株)小野測器	岩宮 眞一郎 大越 勝 オンライン (オンデマンド配信)
12	3.17	-	【開催延期】 インホイールモータによる車両運動制御の飛躍 ー 電動車と運動制御のブレークスルーを目指して ー	① インホイールモータシステムのブレークスルー技術 ② EV時代に向けた車両運動性能の革新 ③ 神奈川工科大学 研究開発設備見学 ④ ラウンド・テーブル・ディスカッション インホイールモータと車両運動制御技術の将来について聞こう、話そう	(株)日立製作所 神奈川工科大学 創造工学部 自動車システム開発工学科	高橋 暁史 勝山 悦生 山門 誠 神奈川工科大学 (神奈川県厚木市)
13	3.25	23	次世代モビリティの社会実装 ー 群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センターの取組み ー	① 次世代モビリティ 社会実装研究センターのご紹介 ② 自動車の自動運転に関する社会実装研究の取り組み ③ 低速電動バスの開発と社会実装研究の取り組み ④ 施設見学(管制遠隔操縦室、ドライビングシミュレータ、車両整備室、自動運転車試乗)	次世代モビリティ 社会実装研究センター 副センター長 准教授 副センター長 教授	小木津 武樹 天谷 賢児 群馬大学 研究・産学連携推進機構 次世代モビリティ 社会実装研究センター (群馬県前橋市)

1416 名

■支部報(高翔)

2021.7.1	支部報「高翔」No76「そなえる」発行	
	女性座談会:「テレワークで、仕事とプライベートはどのように変化したのか」	オンライン
2022.1.1	支部報「高翔」No77「あける」発行	
	女性座談会:「年が「あける」喜びと、新年の抱負」	オンライン
2022.2.22	関西支部との交流会実施 (コロナ禍における支部活動状況、電子化対応について)	オンライン
2022.3.1	中部支部との交流会実施 ((コロナ禍における支部活動状況、電子化対応について)	オンライン

■支部行事案内

メルマガ配信件数:28件

メルマガ配信対象拡大に向けた改善を行い、対象者を大幅に増やした(関東支部会員の40%→95%)。

自技会誌技術会通信及び支部HPへの掲載とメルマガ配信により、支部の行事を告知した、

■見学会

No.	実施時期	参加	見学先	見学・ミニ講演概要	講師	実施会場
1	2021.12.3	22	アマダ(株)富士宮テクニカルセンター	見学: テクニカルセンターと製造工場の2つの施設 講演: アマダのモノづくり	甲斐 不二雄	静岡県富士宮市
2	2021.12.17	12	東北支部共催 日本積層造形(株)	見学: 金属3Dプリンティング工場 講演: 金属AMを使用した薄肉チタン配管の開発	佐藤 正一 山本 晃弘	宮城県多賀城市
3	2021	-	【開催中止】 いすゞ自動車(株)藤沢工場	-	-	神奈川県藤沢市
4	2021	-	【開催中止】 (公財)鉄道総合技術研究所の見学会	-	-	東京都分寺市
5	2021	-	【開催中止】 本田技研工業(株)狭山工場	-	-	埼玉県狭山市
6	2021	-	【開催中止】 日本航空(株)	-	-	東京都大田区
7	2021	-	【開催中止】 日本電産サンキョーオルゴール	-	-	長野県諏訪郡
8	2021	-	【開催中止】 (株)キリウ山形	-	-	山形県舟形町
9	2021	-	【開催中止】 消防研究センター	-	-	東京都調布市
10	2021	-	【開催中止】 日産自動車(株) 追浜工場	-	-	神奈川県横須賀市
11	2022.3.18	-	【開催延期】 石坂産業(株)技術者交流会	-	-	埼玉県入間郡三芳町

34 名

■社会活動

No.	実施時期	参加	行事名	テーマ・会場	講師	実施地
1	2021.6	-	【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからなくくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場:新潟工業短期大学	社会活動担当理事他	新潟県新潟市
2	7	-	【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからなくくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場:日本大学理工学部船橋キャンパス	社会活動担当理事他	千葉県船橋市
3	8.29	-	エコ1チャレンジカップ	中学生・高校生を対象とした「バッテリーカーコンテスト」 会場:オンライン/東急自動車学校	社会活動担当理事他	オンライン/多摩市
4	10	-	【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつ+F48:F54・アラウンドビューモニター試乗会 会場:玉村文化センター	社会活動担当理事他	群馬県佐波郡玉村町
5	11.13	22	【北海道支部主体】 北海道・関東支部共同企画 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからなくくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・アラウンドビューモニター試乗会 会場:札幌市エレクトロニクスセンター	北海道支部理事	北海道札幌市
6	11	-	【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからなくくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場:筑波研究学園専門学校	社会活動担当理事他	茨城県土浦市
7	11	-	【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからなくくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場:山梨テクノICTメッセ	社会活動担当理事他	山梨県甲府市
8	11	-	【開催中止】 明日へのテクノロジー セミナー(後援)	-	-	新潟県新潟市
9	2022.3	-	【開催中止】 小学生くるま未来体験教室	座学、ぶつからなくくるまレゴキット製作、自動ブレーキ・自動駐車・アラウンドビューモニター試乗会 会場:宇都宮大学	社会活動担当理事他	栃木県宇都宮市

22 名

■学生活動

No.	実施時期	行事名	会場	備考
1	2021.11	【開催中止】 国際交流事業 (日本学生を台湾へ派遣)	自動車メーカー、自動車部品メーカー、研究機関などの訪問	
2	11.12	国際会議(台湾, Dayeh Univ.) 院生2名が参加	台湾, Dayeh University	両名とも11/12にオンライン発表し、うち1名がExcellent Paper Award受賞した。
3	2022.1	【開催中止】 国際交流事業 (日本学生をタイへ派遣)	自動車メーカー、自動車部品メーカー、研究機関などの訪問	

4	3	【開催中止】 国際交流事業 台湾、タイから受入	自動車メーカー、自動車部品メーカー、研究機関などの訪問	台湾、タイからの受け入れが困難だったため、オンラインイベントを企画したが、実施困難であったため、次年度に向けた検討を実施した。
5	3.10	学術研究講演会	オンライン開催(自技会本部) 特別講演(オンライン開催) テーマ:『妥協なき こだわりつらぬく ものづくり』 講師:赤岡均氏(本田技研工業)	口頭発表90件。ポスター発表と「技術展示」は、中止。参加者約240名。 *学生功労賞表彰式は、特別講演後にオンラインで学術研究講演会実行委員長からの受賞者紹介に続いて支部長から表彰を行い、後日、表彰額及び記念品を郵送した。 【関東支部学生活動功労賞】3名 【学自研功労賞】1名

### ■試走会WG

No.	実施時期	行事名	テーマ	会場
1	2021.4.18	【開催中止】 学自研交流会	活動の振り返りと年度計画の共有	自動車技術会本部(市ヶ谷)
2	5.15	FM関東	FM関東の運営・参加大学への協力依頼	オンライン(日本大学)
3	5.29	EV交流会	ドライブトレイン	オンライン(神奈川大学)
4	6.25	EV講習	EVの車両運動制御入門 講師:狩野芳郎	オンライン(神奈川工科大学)
5	6	【開催中止】 FM関東 走行会	-	-
6	7.6	EV交流会	今後の活動テーマ検討	オンライン(神奈川大学)
7	7	【開催中止】 FM関東 走行会	-	-
8	8.2	EV交流会	基盤製作	オンライン(神奈川大学)
9	8	【開催中止】 EV講習 II(Web)	-	-
10	8.4~25	【開催中止】 支部合同試走会	車検および本大会に準じるコースでの試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
11	9.30	EV交流会	静的審査結果の共有	オンライン(神奈川大学)
12	9	【開催中止】 マネージメント講習	-	-
13	10	【開催中止】 ダンパー講座(Web)	-	-
14	11	【開催中止】 燃調講習会(Web)	-	-
15	11.6~7	模擬車検会	模擬車検の実施	神奈川工科大学
16	11.14	模擬車検会	模擬車検の実施	ホンダテクニカルカレッジ関東校
17	12	【開催中止】 ダンパー計測	-	-
18	12.11	EV技術交流会	技術紹介、車両見学	小笠山総合運動公園(エコパ)
19	12.11	EV試走会	本大会に準じるコースでの試走会	小笠山総合運動公園(エコパ)
20	2.4	EV交流会	レギュレーション変更点への対策	オンライン(神奈川大学)
21	3	【開催中止】 溶接講座・制御講座	-	-

### ■学生自動車研究会(企画イベント)

No.	実施時期	参加	イベント名	実施会場
1	2021.4.18	-	学自研大会(参与会)	オンライン会議
2	5.12	-	【開催中止】陸上自衛隊富士総合火力演習見学会	静岡県御殿場市(東富士演習場)
3	8.7	-	【開催中止】トヨタカスタマイジング&ディベロップメント 見学会	湘南テクニカルセンター
4	10.23	8	レンタルカート企画	東京都足立区City Kart
5	2022.2.25	9	四輪研修企画	トヨタ交通安全センター・モビリティ(富士スピードウェイ内)
6	3.2	13	自動車部品工業会とのKYBオンライン見学会	KYB相模原工場(オンライン)

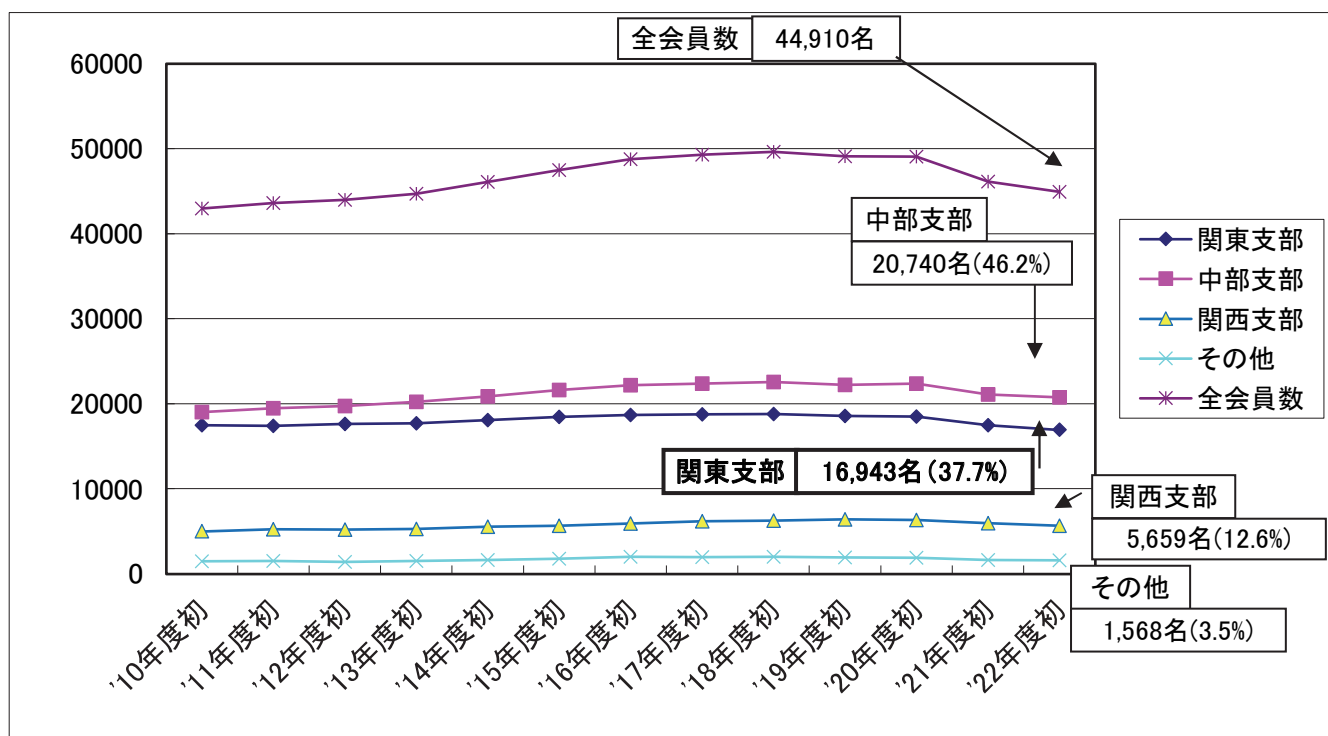
30 名

# <会員の状況>

自動車技術会の個人会員は、2022年4月1日現在46,128名で、このうち、関東支部会員は 16,943名で37.7%を占めている。各会員数を下表に示す。

## 1.1 個人会員

支部名	名譽会員		正会員		学生会員		合計		21年度 増減
	21年度 初め	22年度 初め	21年度 初め	22年度 初め	21年度 初め	22年度 初め	21年度 初め	22年度 初め	
北海道	1	1	159	169	30	25	190	195	5
東北	0	0	338	324	64	76	402	400	-2
関東	30	32	16880	16321	555	590	17465	16943	-522
中部	12	11	20805	20471	275	258	21092	20740	-352
関西	4	4	5597	5356	339	299	5940	5659	-281
九州	2	2	755	707	78	78	835	787	-48
(海外)	0	0	201	180	3	6	204	186	-18
合計	49	50	44735	43528	1344	1332	46128	44910	-1218



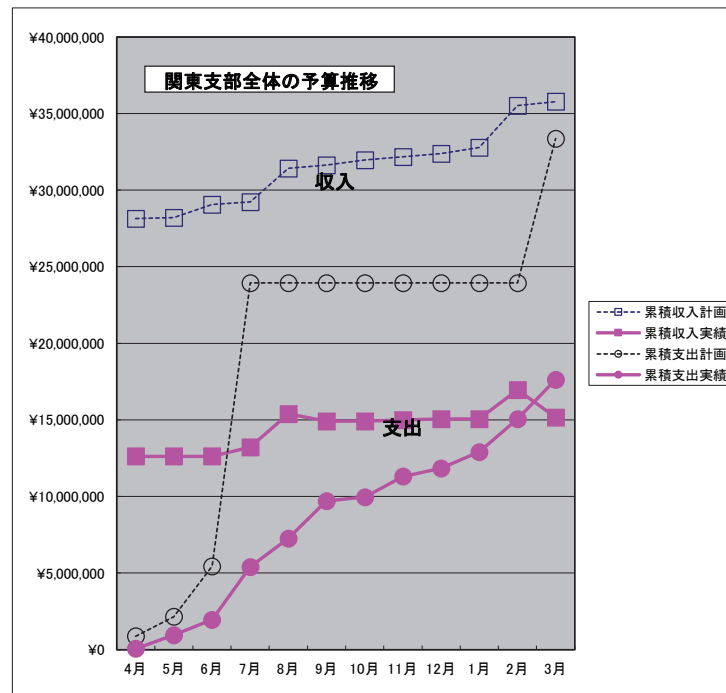
## 1.2 賛助会員(団体数)

支部別	北海道	東北	関東	中部	関西	九州	海外	合計
2022年度初め	1	4	459	150	81	11	5	711
2021年度初め	2	5	475	143	80	9	6	720
増減	-1	-1	-16	7	1	2	-1	-9

# 2021年度収支報告書(2022年3月末)

2022年4月8日

勘定科目	予算	実績(3/末)	差額 (予算-実績)	備考
<b>【収入の部】</b>				
①-1本部交付金収入	9,724,000	9,724,000	0	
・人員費&固定費	9,438,100	9,438,100	0	
・新入会者還付金	285,900	285,900	0	前年度新規入会員分還付
①-2本部特別交付金収入	4,900,000	1,000,000	3,900,000	フォーミュラ70万、市民講座(国内)30万
②支部事業収入	10,863,000	4,432,342	6,430,658	
・総会・懇談会	408,000	0	408,000	
・役員会	195,000	0	195,000	役員会、理事会参加費
・総務	0	0	0	
・講演講習会	1,800,000	279,547	1,520,453	参加登録費
・見学会	510,000	53,636	456,364	参加登録費
・市民公開講座(社会活動)	1,700,000	218,185	1,481,815	参加登録費
・支部報刊行(広告収入)	4,600,000	3,831,800	768,200	広告収入
・刊行物出版	0	0	0	
・学生活動支援	220,000	0	220,000	参加登録費
・学自研事業	0	21,818	-21,818	参加登録費
・フォーミュラ活動支援	1,430,000	27,273	1,402,727	試走会参加登録費
・表彰、会員関連	0	0	0	
・共通管理費(事務局)	0	83	-83	
③寄付金	0	0	0	
④雑収入(利息)	0	0	0	
当期収入合計	25,487,000	15,156,342	10,330,658	
前期繰越金	13,985,544	13,985,544	0	対予算比率
収入合計	39,472,544	29,141,886	10,330,658	73.8%



<b>【支出の部】</b>				
①支部事業支出	26,711,782	17,629,887	9,081,895	
・総会・懇談会	2,453,091	2,351,341	101,750	
・役員会	1,080,000	699,253	380,747	
・総務	50,000	0	50,000	
・講演講習会	2,515,519	1,362,499	1,153,020	
・見学会	4,375,242	4,041,450	333,792	
・市民公開講座(社会活動)	5,033,600	2,691,012	2,342,588	
・支部報刊行	4,895,076	4,007,200	887,876	
・刊行物出版	0	0	0	
・学生活動支援	685,376	131,508	553,868	
・学自研事業	410,000	248,134	161,866	
・フォーミュラ活動支援	3,080,000	283,992	2,796,008	
・表彰、会員関連	621,395	486,259	135,136	
・共通管理費(事務局)	1,512,483	1,327,239	185,244	
②予備費	13,985,544	0	13,985,544	対予算比率
当期支出合計	40,697,326	17,629,887	23,067,439	43.3%
収支差額	-1,224,782	11,511,999		収入合計-当期支出合計
次期繰越金		11,511,999		

## <2022年3月末時点の全体概要>

収入・・・ 当期収入合計 15,156,342円  
 前期繰越金 13,985,544円  
 収入合計 29,141,886円 (対予算 73.8%)・・・①

支出・・・ 当期支出合計 17,629,887円 (対予算 43.3%)・・・②

# 監査報告

2021年度業務及び会計の監査を2022年4月12日に行った結果、いずれも適正かつ正確であり、業務の処理も宜しきを得ていると認めましたことを報告いたします。

2022年4月12日

監査役

加藤 幹夫





# 監査報告

2021年度業務及び会計の監査を2022年4月12日に行った結果、いずれも適正かつ正確であり、業務の処理も宜しきを得ていると認めましたことを報告いたします。

2022年4月12日

監査役

立川 俊洋



報告2.

2022 年度事業計画の件

## 目的：自動車技術と社会の発展に貢献する 支部方針

- I. 地域社会に貢献
- II. 会員相互の交流と研鑽機会の提供
- III. 学生・若手技術者の育成に貢献
- IV. 事業を支える運営体制の強化

## 活動方策

1. 他支部連携の継続と発展
2. 児童・生徒・学生・一般向け活動の充実
3. 満足度高い魅力ある講演・講習会、見学会の推進
4. 技術者交流の継続による定着
5. 「学生フォーミュラ活動」の技術レベル底上げ
6. 自動車業界に学生を惹き付ける活動の検討継続
7. 認知度向上の為の情報発信強化
8. 会員数の増強
9. 運営マニュアルの整備

# 2022年度支部方針実現に向けた系統図



自動車技術会

関東支部



## 1)2022年度 関東支部方針と活動方策

- ①支部方針（I～IV）：21年度の支部方針（I～IV）を踏襲し、継続的に取り組む。
- ②活動方策（1～9）：21年度の活動方策（1～9）を踏襲し、継続的に取り組む。

## 2)2022年度 関東支部方針の実現に向けた系統図

### ③主要施策・・・21年度に対する主な変更点

- a)「他支部との共催、連携（見学会、くるま未来体験教室）イベントの充実」（各理事会）
  - ・東北支部との見学会共催や、北海道支部とのくるま未来体験教室支援を継続しつつ、他団体との協賛や新技術領域のテーマ取り上げ等の連携についても検討していく。
- b)「支部間交流と活動への反映」（各理事会）
  - ・21年度の中部支部、関西支部との支部報担当交流会や、見学会担当交流会を継続しつつ他の担当理事会でも支部間交流について検討していく。
- c)「中高生向けイベント（エコ1チャレンジカップ）の活動強化」（社会活動）
  - ・21年度は現地開催中止し屋内マッチのみのオンライン開催であったが、現地開催に向けた3者共催体制(都市大、日産)確立と、講習等の技術的支援について検討していく。
- d)「多角観点からの企画（技術の深掘り、異業種から学ぶ）の立案実施」（見学・講演）
  - ・21年度はオンラインイベント開催で、他支部も含めた対象地域の拡大ができた。
  - 22年度は、各業界についてバランスよく企画立案すると共に、オンラインイベント開催を継続し、他支部も含めた参加対象者の拡大を図っていく。

### e)「学生アンケート結果に基づく企画の検討」(学生活動)

- ・学生アンケート結果で把握した要望イベントを基に、イベント企画を検討していく。
  - ①見学会(モータースポーツ)、②見学会(研究開発)、③体験会(運転技術)、
  - ④講演会(技術動向)、⑤体験会(モノづくり)

### f)「支部報の中での支部活動紹介」(支部報)

- ・21年度の支部事業報告、学自研報告を継続すると共に、電子化の特色を活かした誌面作りをさらに進めていく(複数写真、Youtube等)

### g)「Webやメディアの活用強化」(事務局/各理事会)

- ・21年度は、支部HPへ「エコ1チャレンジ」のサイトを新設し、ライブ配信やプレスリリースを実施。学自研のtwitter、instagramアカウントを開設し情報発信を開始。22年度も、引き続きSNS等による情報発信を行う。

### h)「新技術領域(CASE等)関連への活動拡大検討」(特命WG)

- ・21年度に特命事業WGを立上げ、活動を推進。22年度は引き続き、本部キャンペーンと連携しながら、展開を推進していく。

### i)「各事業の運営マニュアルの整備」(各理事会)

- ・21年度は支部報、見学会、講演講習会、オンラインマニュアル、イベント実施ガイドラインを設定。22年度は運営マニュアルの整備継続してを行っていく。

‘21年度 重点施策

1. ECO1 チャレンジカップの新規事業化
2. 自動車業界に学生を惹き付ける活動
3. 事業を支える運営体制の強化
  - 1) Web、メディアの活用
  - 2) 会員数の増強
  - 3) 運営マニュアルの整備

‘21年度 活動実績

1. ECO1 チャレンジカップ2021
  - ・屋内マッチのみオンライン開催。12校参加。Youtube視聴回数2000回。
2. 自動車業界に学生を惹き付ける活動
  - ・学生アンケートで要望イベント把握
3. 事業を支える運営体制の強化
  - 1) メルマガ対象拡大、SNS配信開始
  - 2) 新技術領域への活動拡大検討
    - ・特命事業WGにて、「自技会活用のすすめ」を作成し、各社へ展開
  - 3) 運営マニュアルの整備
    - ・イベント実施判断支部ガイドライン作成

‘21年度 課題

1. ECO1チャレンジカップ2022
  - ・3者共催体制での現地開催
2. 入会促進活動
  - ・活動の経過フォローと対応

‘22年度 方針

1. 地域社会に貢献
  - ・児童・生徒・学生・一般向け活動の充実
2. 事業を支える運営体制の強化
  - 1) 会員数の増強
  - 2) 運営マニュアルの整備

‘22年度 重点施策

1. ECO1 チャレンジカップの活動強化
  - ・3者(東京都市大学、日産自動車)共催体制での現地ライブ配信開催
  - ・リモートマッチ(屋内マッチ)：魅力度向上検討
  - ・技術的支援の検討：講習会、フォーミュラシミュレータ体験(本部連携)等
2. 会員数の増強
  - ・本部入会キャンペーン(4～10月)との連携
  - ・自技会講座、催事への参加促進、費用軽減策の各社導入状況把握
  - ・新技術領域への拡大状況把握
3. 運営マニュアルの整備
  - ・各事業の運営マニュアルの継続的整備

‘22年度 展開計画 (案)

	2022	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023	1	2	3
1	▽12 打合せ	▽ 開催案内	▽ 実施要項			▽27,28 大会								
	運営方法、技術的支援の検討 →										次年度検討 →			
2			▽ 定期状況把握			▽ 定期状況把握		▽ 定期状況把握		▽ 定期状況把握				▽ 定期 状況 把握
	自技会講座、催事への参加促進、費用軽減策の各社導入状況、新技術領域への拡大状況													
	本部入会キャンペーン(4/1～10/20) →													
3				各事業の運営マニュアルの継続的整備										

‘21年度 重点施策

1. 「自動運転」、「ICT」、「電動化」等次世代自動車に関する技術動向にスポットを当てた講演会の実施。
2. 「内燃機関（SIP燃焼研究）」開発関連から「車両運動制御」など最新の技術動向や基盤技術まで、視野を広げた企画。
3. 異分野異業種等からの講演
  - ・「防衛装備庁の先進技術」他

‘21年度 活動実績

1. 5月にWeb講演会を講演依頼先の要望に応じてライブ配信、オンデマンド配信とを使い分け、2回実施。（本部メルマガより初全国展開）  
「次世代IT基盤技術」（対面+Web）、「最新車両運動制御」に関しては、まん延防止発令中のため来期に延期。「3Dプリンティング」、「次世代装備研究所」講演は対面にて実施。「サウンドデザイン」はWeb（オンデマンド）にて実施。「次世代モビリティの社会実装」に関しては予定とおり開催予定。
2. 支部アンケート結果からみえる従来からの課題（2012年～）である
  - ①地方での講演会の実施<3Dプリンティング、次世代モビリティの社会実装>、②対面型（会員通しの交流）、Web型（実務と関係がないが興味あり）のすみわけの第一歩を構築（新たな価値の提供）。
3. 担当理事会を3回/年実施

‘21年度 課題

1. イベント開催形態（対面型/Web型）の更なる検討と整理、そして定着化
2. 他支部（東北）とのコラボイベント実現に向けた検討

‘22年度 方針

1. 企画方針  
「広い層の会員に対し、より満足度の高い魅力ある講演・講習会」を実施
2. 運営方針
  - ・次世代自動車に関する技術動向を中心に、それらを支える基盤技術/要素技術にも焦点を当てる
  - ・フレキシブルな講演講習テーマ → 異業種、産学官等の広範な技術分野から設定
  - ・対面型とWebとのすみ分け（特色の活かし方）、および他支部会員への公開を考慮しながらの現場課題も含めた短時間での対応

‘22年度 重点施策

1. 次世代自動車に関する技術動向にスポットを当てた講演会の実施
2. 「くるまづくりを支える様々な技術に関して、基盤技術から最新動向まで、視野を広げた企画」（各テーマ講師には、可能な限り競争優位性/課題についても論じていただく）
3. 異分野異業種等からの講演
  - ・「防衛装備庁の先進技術」他
4. 従来の対面型/都市部開催に加え、Webでの開催、地方開催などの定着化と課題抽出から解決

★ Webを予定もしくは追加

2022年				‘22年度展開計画				2023年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CNに向けたポッシュの取り組み事例 ★		総会特別講演会 ★	JARI講演会	最新車両運動制御 神奈工大講演会	講習会 振動基礎 ★	産総研（東北支部との共催講演会）	日産自動車講演会	防衛装備研究所講演会	日立製作所講演会 ★	インホイールモーター関連講演会 ★	講習会 音色・音質評価 ★



## '21年度 重点施策

### ■ Withコロナでの見学会の在り方論議と実践

#### 【継続する重点施策】

- ① 他支部と連携した見学会の継続実施
- ② 技術者交流会の運営改善と標準化
- ③ リモート見学会への新たなアプローチ
- ④ 参加者の期待を超える企画と運営の改善

## '21年度 活動実績

### ■ 見学会としてCOVID-19対応ガイドラインを制定し、本ガイドラインに沿って行事を遂行

#### 【継続する重点施策】

- ① 2年ぶりに東北支部共催イベントを再開
- ② 技術者交流会における感染対策の検討
- ③ 他業界を含めたリモート見学会のサーチとイメージを具体化するトライアル動画の制作
- ④ コロナ禍においても参加者の高評価を維持

## '21年度 課題

- ・COVID-19対応ガイドラインの適切な運用
- ・リモート見学会への新たなアプローチは、コロナ対策としての代替手段に留めず、付加価値の追求へシフトして継続
- ・他支部との連携強化

## '22年度 方針

1. 「新たな発見を提供できる見学会」の企画
2. 「新しい視点、新しい感覚を吸収できる見学会」の運営  
⇒ テーマは「 想像と創造 」

## '22年度 重点施策

### ■ Withコロナでの見学会の実践（ガイドラインに基づく取組み）

### ■ リモート見学会の付加価値創造

#### 【継続する重点施策】

- ① 東北支部/中部支部との連携（共催イベントの継続実施、支部間情報交換会）
- ② 技術者交流会の運営改善と標準化
- ③ 参加者の期待を超える企画と運営の改善

## '22年度展開計画（案） 実施時期未定

	2022 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023 1	2	3
①			① トヨタ紡織 猿投工場、住友ゴム 白河工場									
②			② 石坂産業									
③			③ JFEスチール東日本、明電舎（太田）、東京工業大学、 日本メクトロン、首都圏外郭放水路、いすゞ、本田、日産 他									

## 2021年度 重点施策

1. 電子化によるメリットを活かした魅力ある誌面作りを目指すとともに、冊子版の限定提供等により自技会の認知度向上に取り組む。
2. マニュアル類の刷新により編集活動の効率化を図ると同時に、コロナ禍を背景とした状況変化に対し柔軟に対処できる体制を構築する。
3. 支部活動の広報誌として、会員及び各事業体とのコラボレーションを意識した記事作りをより一層推進し、支部間交流による情報も活用しながら読者が事業活動を十分理解し満足できる内容とする。

## 2021年度 活動実績

支部報「高翔」の刊行  
 第76号, 77号(電子版にて刊行済)  
 第78号(2022年7月刊行予定)  
 特集テーマ『まわる』  
 掲載予定記事を執筆/編集中

支部交流会の開催  
 ⇨中部: '21/3月開催('21/9は中止)  
 ⇨関西: '21/2月開催

支部報マニュアル改訂&展開

## 2021年度 課題

電子版高翔の見やすさ改善及び電子ブックの特長を活かした更なる魅力度アップ(動画ほか各サイトへのリンク充実)。

## 2022年度 方針

- 前年度の方針を継続しつつ支部報事業活動全体の品質向上を目指す。
1. 電子版高翔の見やすさ(読み易さ)改善及び電子ブックの特長を活かした更なる内容の充実。
  2. 支部活動を紹介する広報誌としての役割を強く意識するとともに継続的な支部間交流による協調関係維持及び編集活動の活性化。

## 2022年度 重点施策

- 以下を重点施策として進める。
1. 電子ブックに特化した誌面レイアウトの工夫により電子版の見やすさ(読み易さ)改善を図る。
  2. 電子ブックの特長を活かした誌面作りに注力し、動画ほか各サイトへのリンクを更に充実させ魅力度アップを図る。
  3. 支部活動の広報誌として、会員及び各事業体とのコラボレーションを意識して取り組むとともに、他支部とも連携しながら記事づくりをしていることがより読者に伝わるよう工夫する。

## 2022年度 展開計画

	2021.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2022.1	2	3
				(中部支部報交流会 ◇)							中部支部報交流会 ◇ 関西支部交流会 ◇	
78号	→	○原稿締切	→	テーマ: まわる								
		→	校正・編集	→	★刊行(予定)							
79号		○テーマ決定	→	記事内容決定								
		→	記事案出し	→	執筆交渉	→	執筆、取材	→	校正・編集	→	印刷	→
						○原稿締切					★刊行(予定)	

## '21年度 重点施策

- ① 教育支援：地域活動機会を通じて工学教育支援で社会に貢献
  - ② 重点活動地域での活動継続、他支部・本部との連携
  - ③ 小中高生向けプログラムのレベルアップ(進化検討)
- \*Withコロナの中での活動と対応

## '21年度 活動実績

- ◎ 社会活動実績PR：支部報への寄稿 7月
- ① 地域での工学教育支援
  - ・くるま未来体験教室 計画7回 実施1回
  - \*北海道支部でFCV教室のみ実施10/17
- ② 他支部・本部との連携
  - ・エコ1チャレンジ、オンライン表彰 8/29
  - ・北海道支部との連携共催（上記）
- ③ 小中高生向けプログラム進化
  - ・LEGOキットカーScratch対応20台 3月

## '21年度 課題

### \*Withコロナ環境への対応

- ① 再開条件の整理と再開準備対応/実証
  - ・参加スタッフ（出張条件、事前検査）
  - ・相手先/参加者（合意形成、承諾書）
  - ・実施対応（各自治体 本部支部GL順守）
- ② オンラインのイベント対応検討：
  - エコ1推進安全講習の検討など

## '22年度 方針

- ① 教育支援：各地域での活動を再検証しながら、工学教育支援を実施
  - キッズエンジニア、エコ1チャレンジカップ、明日へのテクノロジーセミナーなど
- ② 重点活動地域でのくるま未来体験教室の再開、支部本部との連携
  - 新潟、群馬、山梨、栃木、キッズ(横浜)、北海道支部連携など
- ③ 小中高生向けプログラムのレベルアップと拡大
  - LEGOキット更新、Scratch対応への内容進化

## '22年度 重点施策

- ① 本部、他支部イベントの確認と対応
  - 7/29-30 キッズエンジニア、8/28-29エコ1チャレンジ、10月 北海道支部
- ② 重点地域での活動再開のコロナ対応確認と実施
  - 5月 宇都宮、新潟 ～他地区、支部との確認と対応
- ③ キット準備メンテ、進化対応 オンライン検討など

## '22年度展開計画（案） \*コロナ状況により変動あり

	2022 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023 1	2	3
①				29_30 キッズ	28_29▽ エコ1			19 明日テク	* 群馬EV			
②		14 28 ▽▽ 宇都宮 新潟				18 ▽ 新潟 ▽ 群馬玉村	▽ 札幌	▽ 山梨				▽ 宇都宮
③	▽ 準備	▽ 準備		▽ 準備	▽ 準備	▽ 準備	▽ 準備	▽ 準備	▽ 理事会		▽ 準備	

## ‘21年度 重点施策

1. 学自研（学生委員会）
  - 学自研活動アピール方法の検討
  - オンライン企画の検討(新型コロナ対応企画の検討)
2. 学術研究講演会
  - オンライン開催の検討
3. 国際交流事業
  - タイ・台湾SAEとの連携強化(新型コロナ対応を考慮した交流方法の検討)
4. 大学生及び教員を対象とした自動車業界へ惹きつける活動の検討
  - 機械工学以外も巻き込んだ「企業の人と触れ合える」施策と、JSAE認知度向上施策の実施を事務局と検討

## ‘21年度 活動実績

1. 学自研活動
  - 学生委員会：12回、学自研大会：4月
  - 主な学自研企画イベント：3回
2. 学術研究講演会(3/10)
  - 会場：オンライン開催
  - 講演：90件(英語発表7件)
  - 参加者数：約240名
  - 特別講演会：「妥協なき こだわりつらぬくものづくり('07YM CBR600RRが目指したコト)」赤岡 均 様（本田技研工業株式会社）
3. 学生国際交流
  - 台湾派遣(11月)中止、タイ派遣(1月)中止
  - 海外学生受入れ(3月)中止
  - 台湾国際会議(Dayah Univ.)院生2名参加

## ‘21年度 課題

1. 学自研活動引き継ぎ方法
2. 国際交流活動のオンライン企画検討
3. 学術研究講演会のプログラム見直し

## ‘22年度 方針

1. 企画方針：
  - 支部学生活動，学術研究講演会及び国際交流事業の一層の活性化により，明日を担う若手研究者・技術者の育成を図る。
2. 運営方針：
  - 国際交流事業を通して，学生間の国際的技術交流の構築を目指す。
  - 学生会員に自動車技術への関心をより深めてもらう。
  - 学生自らが主体的に活動できるように支援する。

## ‘22年度 重点施策

新型コロナ影響で直接活動が制限される前提で、対面に依存しない方法を指向

1. 学自研（学生委員会）
  - オンライン企画の検討(新型コロナ対応企画の検討)
2. 学術研究講演会
  - プログラム(セッション組み)の検討
3. 国際交流事業
  - 新型コロナ対応を考慮した交流方法の検討(タイ・台湾SAEとの連携強化)
4. 自動車業界に学生を惹き付ける活動の継続
  - 機械工学以外も巻き込んだ「企業の人と触れ合える」施策と、JSAE認知度向上施策の実施を事務局と継続検討

## ‘22年度展開計画

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①	☆ ←											→
	学自研大会											(学自研企画イベント支援)
②			△					△				☆
		実行委員会発足						CFP発行				学術研究講演会
③								☆		☆		☆
								台湾派遣		タイ派遣		タイ・台湾受入れ

## ‘21年度 重点施策

- ① **インターネットを活用した講座開催**  
入門から応用までサポート企業と連携したレベル別の技術支援  
オンラインの特性を生かしたWeb講座開催
- ② **走行機会増と次年度へむけた情報伝達**  
少数参加校による車両走行会の複数開催  
技術交流会、EV技術交流会の定期開催
- ③ **小型軽量EV車両の製作講座**

## ‘21年度 活動実績

### 試走会

支部合同試走会@エコパ 中止  
もてぎ試走会 中止

### 学生自主企画の推進と組織化

FM関東試走会 中止

### 技術支援の系統化(座学・実技連携)

騒音講習会 中止  
溶接実技講習会@エコパ 中止  
溶接座学講習 中止  
燃調講習会 中止  
ダンパ講座 中止  
ダンパー計測、技術相談会 中止

### FM関東オンライン交流会

9/26、11/28、2/17、3/17

SolidWorks Simulationオンライン講習会  
10/22,31,11/7

## ‘21年度 課題

1. 登校制限による車両開発の遅れ
2. 2年連続の動的審査中止によるレベル低下  
製作・運営・大会参加ノウハウ伝承不足

## ‘22年度 方針

### 1. 企画方針

感染症対策によるリアル企画とオンライン企画の併用

### 2. 運営方針

学生の技術交流と自主的な試走会運営を推進  
2025年大会EV半数にむけたEV推進

## ‘22年度 重点施策

- ① 感染対策により参加台数を制限した試走会開催  
車両完成の目標となる試走会の早期開催  
車検と試走会の分離による走行時間の確保
- ② 学生自主企画の支援  
学生委員として学自研活動と連携した企画運営  
技術交流会・走行会の運営サポート
- ③ EV技術交流会と基礎講座の拡充  
企業と連携した講座の展開

## ‘22年度 展開計画

	2022 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023 1	2	3
①		エコパ試走会 ▽	エコパ試走会 ▽				EV走行会 ▽					
②		企画・募集・学生スタッフ依頼 技術交流会 ▽	技術交流会 ▽	合同試走会 ▽			技術交流会 ▽				技術交流会 ▽	
③			▽ (ホンダ基礎講座) ダンパー講座 ▽				▽ (ソリッドワークス講習会) マネジメント講座 ▽				▽ 溶接講座	

## 2022年度 自動車技術会関東支部予算

【概要】 年度前半についてはコロナ禍を意識した予算付け(飲食費縮小・オンライン費用拡大)を行った。  
 下半期は対面での会議開催を念頭においた費用を計上する形とした。

区分	費目	2021年度 予算	2021年度末実績 (2022/3月末)	2022年度 予算	特記事項、差異理由	
収入	交付金 (A) (本部から)	①会員数比例分+固定費 ②新入会者還付金	9,438,000 285,900	9,438,000 285,900	9,009,200 317,100	2022年3/1会員数予測値(2022.1末時点)に基づき算出 会員×400、新人×300、固定分1,850,000 各数値は100円台を切り上げ 2022年度より特別交付金は実費精算 交付対象は従来通り下記3費目 ①フォーミュラ ②社会活動 ③エコ1チャレンジカップ
		①+② (小計)	9,724,000	9,724,000	9,327,000	
	特別交付金 (B)	(本部から右記項目にて)	2,900,000	1,000,000	2,900,000 2,000,000	
				特別交付金内訳 フォーミュラ 70万 社会活動 10万 エコ1 20万		
	支部事業 (C)	総会・懇談会 支部役員会 総務担当 講演・講習会 見学会 支部報 刊行物 社会活動 学生活動 支部学自研 ものづくり活動支援(試走会) 会費 共通(事務局)	408,000 195,000 0 1,800,000 510,000 4,600,000 0 200,000 220,000 0 1,430,000 0 0	0 0 0 279,547 53,636 3,831,800 0 218,185 0 21,818 27,273 0 83	200,000 100,000 30,000 450,000 100,000 4,000,000 0 300,000 220,000 200,000 700,000 0 0	
		(小計)	9,363,000	4,432,342	6,300,000	
	雑収入 (D)		0	0	0	
		収入合計 (A)+(B)+(C)+(D)	21,987,000	15,156,342	20,527,000	
	繰越金 (E)	前期からの繰越	13,985,544	13,985,544		
		繰越金まで含めた総合計 (F) (A)+(B)+(C)+(D)+(E)	35,972,544	29,141,886	20,527,000	
支出	支部事業支出	総会・懇談会 支部役員会 総務担当 講演・講習会 見学会 支部報 刊行物 社会活動 学生活動 支部学自研 学生フォーミュラ活動支援 表彰・会員関連 共通(事務局)	2,738,000 985,000 340,000 1,670,000 1,788,000 6,610,000 0 3,120,000 2,940,000 500,000 3,400,000 600,000 1,952,000	2,351,341 699,253 0 1,362,499 4,041,450 4,007,200 0 2,691,012 131,508 248,134 283,992 486,259 1,327,239	3,646,000 1,511,000 100,000 4,551,000 3,165,000 4,230,000 0 2,995,000 2,960,000 540,000 3,080,000 500,000 1,590,000	リモート対応による機材レンタル代など リモート見学会動画制作費 高翔 紙版発送費用 支部行事案内廃止 中高生プログラム(エコ1チャレンジカップ)運営費
		(小計)	26,643,000	17,629,887	28,868,000	
	予備費		13,985,544		11,511,999	
		予備費まで含めた支出計 (G)	40,628,544	17,629,887	40,379,999	
	当期収支差額	(F)-(G)		11,511,999		
				2022年度へ繰越		

# 2022年度 自動車技術会 関東支部活動計画

日付の確定していないイベントは検討中、或いは調整中です。  
予告無く変更する場合があります。

2022/5/19

	2022年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023年 1	2	3	4	5	6	備考	
<b>本部</b>		25-27 ▽ 春季大会 (現地+Web)	6/24-7/1 ▽ 人テク展名古屋 (名古屋) エンジニア	29-30 ▽ キッズ 6/29-7/1		6-10 ▽ 全日本学生 フォーラム大会(掛川)		12-14 ▽ 秋季大会 (Web)							24-26 ▽ 春季大会(横浜) 25		
		26 ○ 第12回定時総会		○ 支部担当 理事会						18 ○ 第50回 だいじん会	16 ○ 支部担当 理事会	23 ○ 第1回代議員会 新年祝賀パーティ			○ 第13回定時総会		
<b>支部</b>	15 ○ 第6回理事会 (小野測器+Web) 総務担当理事会		1 ○ 第12回通常総会 (如水会館)				○ 第1理事会(合同役員会) ( )			○ グループ担当 連絡会 (市ヶ谷) 第3回	○ 第2回理事会(合同役員会) 新春懇談会(如水会館)	○ 顧問会 (電機大)	○ 第3回理事会 (小野測器)		○ 第13回通常総会 (如水会館)		
				○ 第1回		○ 第2回						○ 第4回					
<b>講演・講習会</b>	28 ▽ カーボン ニュートラル (web)	1 ▽ 総会特別講演 (如水会館&Web)	5 ▽ JARII講演会 (つくば)	3 ▽ 車両運動制御 (厚木)	28-30 ▽ 基礎から 分かる モード解析 (国分寺orWeb)	24-25 ▽ 産総研 福島 再生可能 エネルギー 研究所 (福島)	日産自動車 ( )	防衛装備庁 陸上装備研究所 (相模原)	新春特別講演 ▽ 日立中央研究 所( )	インホイール モーターEV の動向 ( )	音質評価 講習会 (Web)	基礎から 分かる モード解析 (国分寺orWeb)					
<b>見学会</b>		23 ▽ 石坂産業 (ふじみ野)	27 ▽ 日本メクトロン (牛久)	▽ 住友ゴム (白河)	16 ▽ 銚子電鉄 (銚子)	▽ 鉄道総研 (国立)	▽ 本田技研 (狭山)	▽ 日産自動車 (追浜)	▽ いすゞ自動車 (藤沢)	▽ JFEスチール (千葉)	▽ 明電舎 (太田)	▽ 首都圏外郭放水路 龍Q館 (太田)					
<b>支部報</b>	寄稿・取材・編集 → 校正・印刷・製本	……26▽女性座談会(オンライン旅行) 校正・印刷・製本 → 第79号テーマ&記事選定	1 ▽ 第78号発行	寄稿・取材・編集 → 校正・印刷・製本 → 第80号テーマ&記事選定	▽ 中部支部 交流会 (刈谷orWeb)	……▽女性座談会( ) 校正・印刷・製本 → 第79号発行	▽ 中部支部 交流会 (東京orWeb)	▽ 関西支部 交流会 (京都orWeb)	1 ▽ 第79号発行	寄稿・取材・編集 → 校正・印刷・製本 → 第80号発行	……▽女性座談会 校正・印刷・製本 → 23年7月 第80号発行						
<b>社会活動</b>	21 ▽ くるま未来 体験教室 (宇都宮)	▽ くるま未来 体験教室 (船橋)	▽ くるま未来 体験教室 (横浜)	27-28 ▽ エコ1チャレンジ カップ (東急自動車 学校)	18 ▽ くるま未来 体験教室 (新潟)	30 ▽ くるま未来 体験教室 (札幌)	▽ くるま未来 体験教室 (新橋)	▽ くるま未来 体験教室 (甲府)	▽ 群馬県 高校生 EV大会 (前橋)			▽ くるま未来 体験教室 (宇都宮)					
<b>学生活動</b>	23 ▽ 学自研大会 /参与会	▽ 学自研 講演会	▽ 学自研 見学会	▽ 富士総合火力 演習見学会		▽ レンタルカート		▽ TDC見学会	▽ 学自研 見学・講演会	▽ 学自研 四輪研修	9 ▽ 学術研究 講演会 (Web)	▽ 学自研大会 /参与会				・担当理事会 (2ヶ月/1回) ・学生委員会 (1ヶ月/1回)	
								▽ 学生派遣(台湾)	▽ 学生派遣(タイ)		▽ タイ・台湾 学生受入交流						
<b>試走会WG</b>	23 ▽ 学自研 交流会	14-15 ▽ 試走会	23-24 ▽ 試走会	8-11 ▽ 支部合同 試走会 (エコパ)	17 ▽ 試走会 (中部運営)	▽ EV走行会 ▽ (ソリッドワークス講習会) ▽ マネージメント講座					▽ 溶接講座						
	▽ 技術交流会	▽ 技術交流会	▽ (ホンダ基礎講座) ▽ ダンパー講座			▽ 技術交流会					▽ 技術交流会						

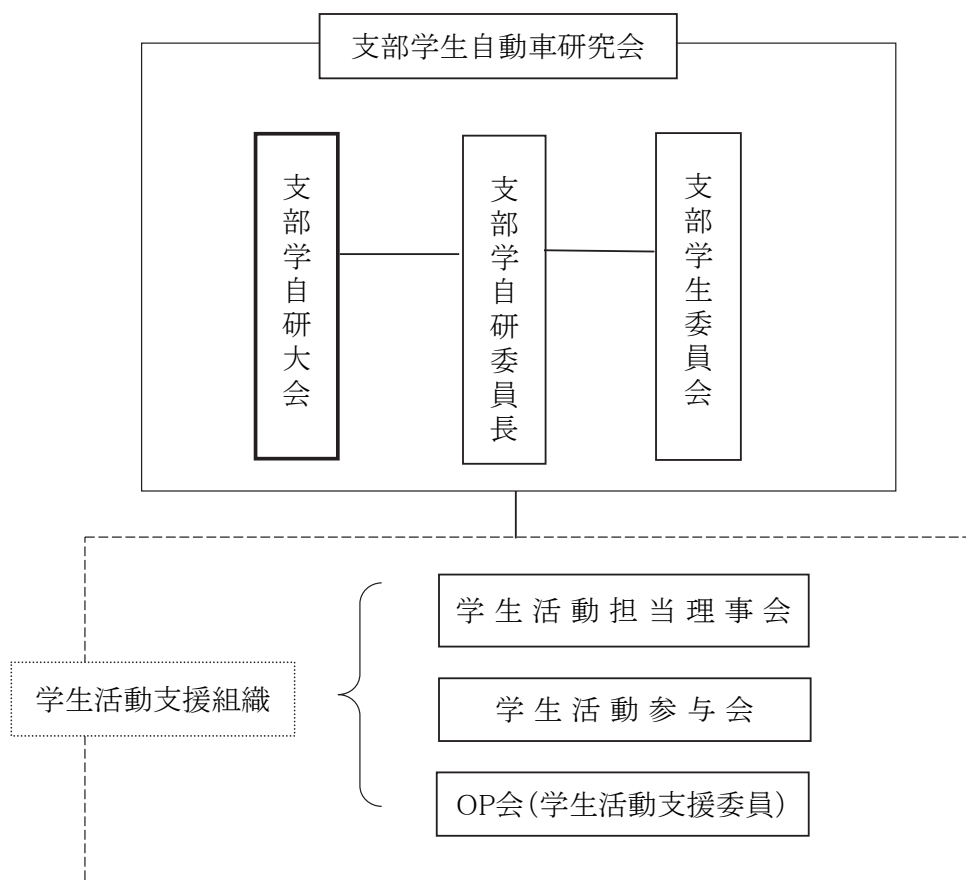
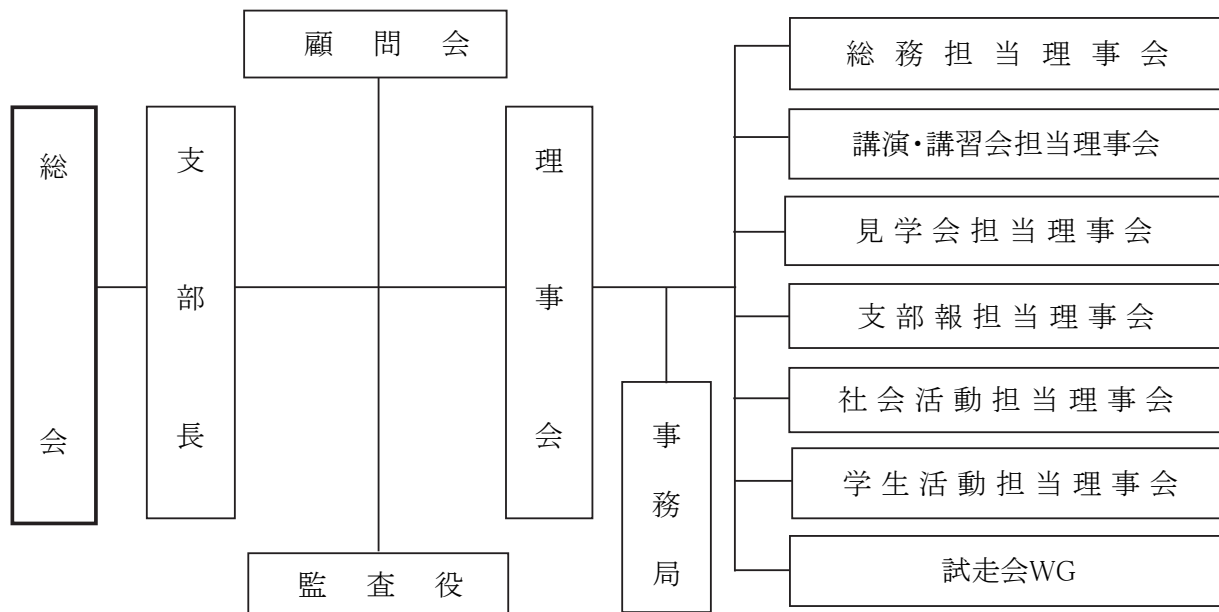
# 議案1.

2022 年度

支部組織・役員体制の件



# 自動車技術会関東支部組織図



# 2022年度支部役員体制(案)

2022/6/1

## 1. 関東支部役員一覧

役名	氏名	勤務先・職名	
支部長	大塚 裕之	(株)日産オートモーティブテクノロジー	□
顧問 (10名)	新井 康久	(株)本田技術研究所社友	
	有馬 光彦	元 日野自動車(株)	
	遠藤 真	日野自動車(株)	□
	景山 久	元(公社)日本交通政策研究会	△
	嶋田 幸夫	元 日産自動車(株)	
	竹内 覚	元 UDTトラックス(株)	
	近森 順	元 芝浦工業大学	
	土井 利政	元ジャトコ(株)	
	藤澤 正明	元日立オートモティブシステムズ(株)	
	村上 秀人	ジャトコ(株)	△
監査役 (2名)	立川 俊洋	日本発条(株)	
	加藤 幹夫	元(株)本田技術研究所	
総務担当 理事 (8名) 兼務7名	飯高 敏	◎ (株)日産オートモーティブテクノロジー	☆
	岡部 顕史	◎ 日本大学	兼
	倉橋 秀範	◎ 本田技研工業(株)	兼
	渋谷 弘之	◎ いすゞ自動車(株)	兼
	野田 淑子	◎ (株)ブリヂストン	兼
	本田 康裕	◎ 国士舘大学	兼
	柳井 達美	◎ 日産自動車(株)	兼
	渡部 寿	◎ 日立Astemo(株)	兼
講演・ 講習会 理事 (13名)	渡部 寿	◎ 日立Astemo(株)	☆
	猪瀬 潤	◎ (株)小野測器	
	石動谷 充康	◎ ジャトコ(株)	
	岩井 信夫	◎ 元 NEDO	
	大森 浩	◎ 日立Astemo(株)	
	尾高 成也	◎ 曙ブレーキ工業(株)	□
	加藤 武士	◎ (株)本田技術研究所	□
	筑後 隼人	◎ 日産自動車(株)	□
	長尾 健一	◎ (株)IHI	□
	長澤 剛	◎ 東京工業大学	□
	森田 賢治	◎ (一財)日本自動車研究所	
	森田 泰弘	◎ ポッシュ(株)	
	山川 淳也	◎ 防衛大学校	
見学会 理事 (10名)	野田 淑子	◎ (株)ブリヂストン	☆
	藤川 忠弘	◎ 日産車体(株)	☆
	青林 龍多	◎ いすゞ自動車(株)	□
	明石 浩二	◎ 本田技研工業(株)	
	大河戸 昌也	◎ 市光工業(株)	
	山崎 慎也	◎ (株)マツダ	□
	池内 亮蔵	◎ (株)ヨロズ	□
	花澤 淳之	◎ 日野自動車(株)	
	山本 敏朗	◎ 交通安全環境研究所	
	渡辺 健	◎ マレリ(株)	□

□:新任  
◎:主担当  
○:副担当  
☆:新たに主・副担当に就任  
△:企業名変更、所属変更

### <退任数>

支部長 1名  
理事 8名

### <新任数>

支部長 1名  
理事 8名

### <役員総数>

支部長 1名  
顧問 10名  
監査役 2名  
理事(除支部長) 67名

役名	氏名	勤務先・職名	
支部報 理事 (11名) 兼務1名	渋谷 弘之	◎ いすゞ自動車(株)	
	大宮 正毅	◎ 慶應義塾大学	
	伊澤 隆志	◎ GKNドライブラインジャパン(株)	
	今村 勝	◎ 日本発条(株)	□
	臼井 拓也	◎ 日立Astemo(株)	
	熊谷 徹	◎ (国研)産業技術総合研究所	□
	佐々木 領一	◎ パーソルR&D(株)	
	成澤 和幸	◎ 早稲田大学	
	本田 康裕	◎ 国士舘大学	兼
	松田 淳	◎ 横浜ゴム(株)	
	柳井 達美	◎ 日産自動車(株)	
社会活動 理事 (12名)	倉橋 秀範	◎ 本田技研工業(株)	
	岩崎 雅彦	◎ 日産自動車(株)	
	小椋 和義	◎ (株)日産オートモーティブテクノロジー	
	阿部 和彦	◎ 元マレリ(株)	
	柏瀬 一	◎ (株)SUBARU	
	佐野 吉徳	◎ (株)ミツバ	
	横山 篤	◎ (株)日立製作所	
	鈴木 真人	◎ 新潟工業短期大学	
	富樫 晃	◎ (社)日本自動車部品工業会	
	向井 正和	◎ 工学院大学	
	武藤 英治	◎ (株)ホンダテクノフォート	
	渡辺 芳樹	◎ 日本精機(株)	
学生活動 理事 (14名)	岡部 顕史	◎ 日本大学	
	馬場 雅之	◎ 元本田技研工業(株)	
	伊藤 秀明	◎ 東京都立産業技術高等専門学校	
	大塚 嘉郎	◎ いすゞ自動車(株)	
	岡崎 昭仁	◎ 神奈川工科大学	
	川上 洋生	◎ 元日立Astemo(株)	
	小林 佳弘	◎ 東京電機大学	
	佐藤 一成	◎ (株)マーレフィルターシステムズ	
	鈴木 康弘	◎ 日野自動車(株)	
	田中 淳弥	◎ 工学院大学	
	中村 道郎	◎ 本田技研工業(株)	
樋口 真文	◎ 元UDTトラックス(株)		
三原 雄司	◎ 東京都市大学		
渡邊 一雄	◎ 日産モータースポーツ&カスタマイズ(株)		
試走会 WG (7名)	狩野 芳郎	◎ 神奈川工科大学	
	本田 康裕	◎ 国士舘大学	
	草加 浩平	◎ 東京大学	
	鈴木 隆	◎ 上智大学	
	関根 太郎	◎ 日本大学	
	東宮 真左人	◎ (株)SUBARU	
	中澤 広高	◎ (株)本田技術研究所	
会計担当	小椋 和義	◎ (株)日産オートモーティブテクノロジー	兼
	保田 正義	◎ (公社)自動車技術会	兼
	伊藤 正純	◎ (公社)自動車技術会	兼
庶務理事	伊藤 正純	◎ 日野自動車(株)	

### <退任>

役名	氏名	新任
支部長	遠藤 真	大塚 裕之
顧問		遠藤 真
監査役		
理事	市原 利信	
	高橋 裕樹	→ 加藤 武士(講演・講習会)
	飯尾 雅俊	→ 筑後 隼人(講演・講習会)
		→ 長澤 剛(講演・講習会)
	伊東 宏	→ 青林 龍多(見学会)
	井本 沙緒里	→ 渡辺 健(見学会)
	田村 正樹	→ 池内 亮蔵(見学会)
	神谷 裕仁	→ 今村 勝(支部報)
	松本 成司	→ 熊谷 徹(支部報)

2022/4月  
2022/4月  
2022/4月  
2022/4月  
2021/4月  
2021/4月  
2021/4月  
2021/4月  
2021/4月  
2021/4月

## 2. 学生活動参与

氏名	大学名	新
西野 創一郎	茨城大学工学部	
加藤 直人	宇都宮大学学術院	
岡崎 昭仁	神奈川工科大学	
武田 克彦	関東学院大学理工学部	
石間 経章	群馬大学理工学部	
山本 崇史	工学院大学工学部	
山口 恭平	国士館大学理工学部	○
斎藤 寛泰	芝浦工業大学工学部	
一柳 満久	上智大学理工学部	
佐藤 博之	湘南工科大学工学部	
中橋 浩康	信州大学繊維学部	
弓削 康平	成蹊大学理工学部	
窪山 達也	千葉大学大学院	
戸井 武司	中央大学理工学部	

氏名	大学名	新
伊藤 誠	筑波大学システム情報系	
吉永 昌史	東海大学工学部	
山崎 由大	東京大学大学院	
佐藤 進	東京工業大学工学院	
小平 和仙	東京電機大学理工学部	
小林 佳弘	東京電機大学工学部	
ボンサトーン・ラクシンチャランサク	東京農工大学工学部	○
及川 昌訓	東京都市大学工学部	
菅沼 祐介	日本大学生産工学部	○
吉田 幸司	日本大学理工学部	
椎葉 太一	明治大学理工学部	
川原 万人	明星大学情報学部	
原 薫	ものづくり大学総合機械学科	
伊藤 安海	山梨大学大学院	
佐藤 恭一	横浜国立大学大学院	
	(計29名)	

## 3) 学生活動支援委員

氏名	勤務先
小船 達朗	日立Astemo(株)
山中 七星海	日野自動車(株)

(計 2名)

## 4) 支部学生委員会役員

役名	氏名	所属大学	
委員長	伊藤 大貴	日本大学大学院	☆ 新
副委員長(兼任)	渡邊 久葉	神奈川工科大学大学院	
副委員長	長尾 義大	国士館大学	新
書記	山之内 晶	神奈川工科大学大学院	
書記	内田 凌介	神奈川工科大学大学院	新
広報	榎本 卓也	日本大学大学院	
広報	渡部 悠人	国士館大学	新
広報	福本 哲夫	東京電機大学大学院	
会計	藤原 諠紀	神奈川工科大学大学院	新
会計	柴橋 和真	中央大学大学院	
国際交流	久地楽 昌紀	関東学院大学大学院	
FM関東委員長(兼任)	渡邊 久葉	神奈川工科大学大学院	新

(計 11名)

☆は役職変更